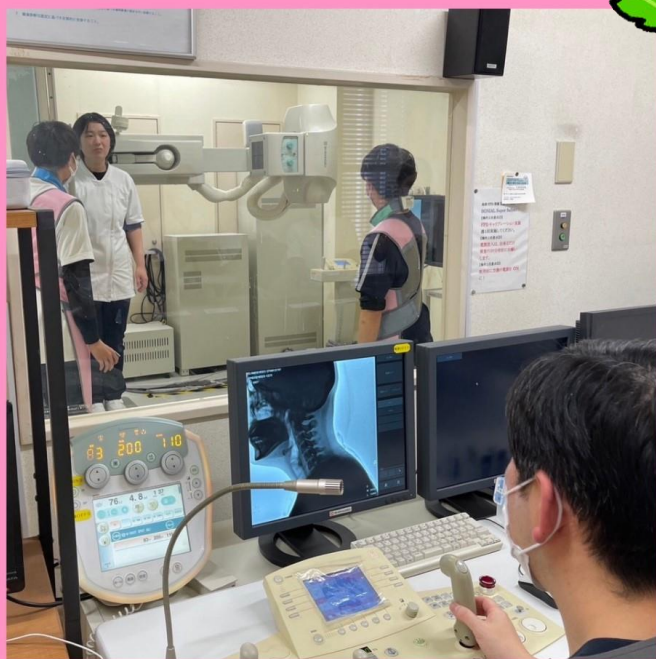
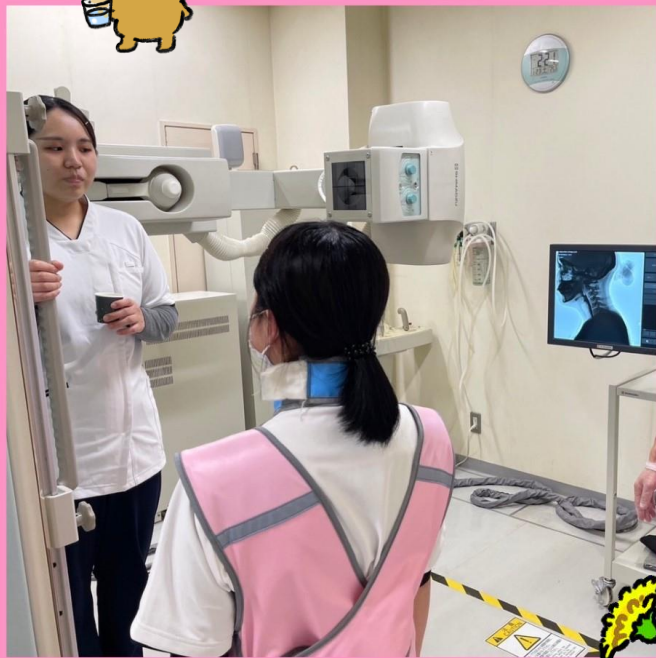




SVF実習



3/23(土) 2年生が別府市にある黒木記念病院にて、嚥下造影検査(SVF)の実習を行いました。SVFは、言語聴覚士にとって重要な検査の一つで、飲み込みの障害(嚥下障害)の有無や原因を発見するために使用されます。はじめに、放射線技師の図師先生から基礎知識や注意点についての講義があった後、言語聴覚士の先生方に検査実施の流れや役割を教わりながら、自分自身の嚥下造影を行い、飲み込みの様子を観察しました。臨床実習に向けた実践的な知識・技術を学ぶことができました!